

2013年 <JAFTA>秋の研修会報告

2013年10月25日(金) 13時～16時 (バン産商株式会社 3F)

【研修目的】

日々のフットケア時にフスフレーゲ技術者として注意すべきこと、観察のポイント、対処法などをフットケアサロン、介護系向けにドクターから指導。また、サロンからの症例報告と参加者全体のディスカッションで医療連携を活用したフットケアのレベルアップを目的とする。

【講師】

新城孝道先生(江戸川病院・日本フットケア技術協会会長)

【オブザーバー】

倉片長門先生(スマイル皮膚科院長・日本フットケア技術協会研修会委員長)

【報告者】

吉田朋子(フットケアサロンテクニカ・日本フットケア技術協会広報委員長)

大岩久恵(フットケアサロンなゆた・日本フットケア技術協会事務局長)

【テーマ】

糖尿病とフットケア ～フスフレーガーができること～ : 新城孝道先生

症例報告&ディスカッション「顧客を獲得する為のフスフレーガーの秘訣」 : 吉田朋子 大岩久恵

【参加人数】 10名

サロン経営フットケア技術者5名、フットケア技術者1名、看護師1名、介護関係1名、バン産商スタッフ2名

■講義:糖尿病とフットケア ～フスフレーガーができること～ : 新城孝道先生



■症例報告&ディスカッション「顧客を獲得する為のフスプレーガーの秘訣」：吉田朋子 大岩久恵



【参加者からの感想】

- ・ 今日、参加させていただいてケアで注意すべき点が改めて見えてきました。定期的な講習会に参加することで新たな情報を得ることが出来、気持ちが引き締まりました。これからもお客様を大切にし、満足のいただけるケアができるように頑張りたいと思います。
- ・ 本日は貴重なお話をありがとうございました。足だけでなく、立ち方、姿勢、歩き方などを観察する大切さを教えていただきましたので、明日からの接客に生かして行きたいと思います。
- ・ 本日は、実践の場ですぐに役立つ内容でとても勉強になりました。疑問点等も解消したので安心しました。また、気軽に集まる会等をつくっていただけるとありがたいです。
- ・ 新城先生の講義が、ユーモアがあり、なおかつ理解しやすい内容であった。JAFTA から発行されているガイドラインの重要性と再認識した。
- ・ 私は実際にはサロンでも病院でも勤務しておりませんので、今回の研修会での事例報告や、質問、解答もすべて大変勉強になりました。経験を積むこと、他の会員の方と情報交換をすること、勉強会に参加することが大切と感じました。

2013 年秋の研修会 参加者



■ 今回の研修会はフットケア技術者中心に行い、身近にある注意点や対応策を学びました。

参加者とディスカッションしながら問題点を一つ一つ解決してより安全で高い精度のフットケアを提供する JAFTA でありたいと思います。 ご参加ありがとうございました。

